

## 中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

## 1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

平成25年に報告された全国のHIV感染者数は1,106件、AIDS患者数は、484件、両者を合わせた新規報告件数は1,590件であった。中国・四国ブロック内のHIV感染者数は56件、AIDS患者数は32件、両者を合わせた新規報告件数は88件であった（図1、図2）。

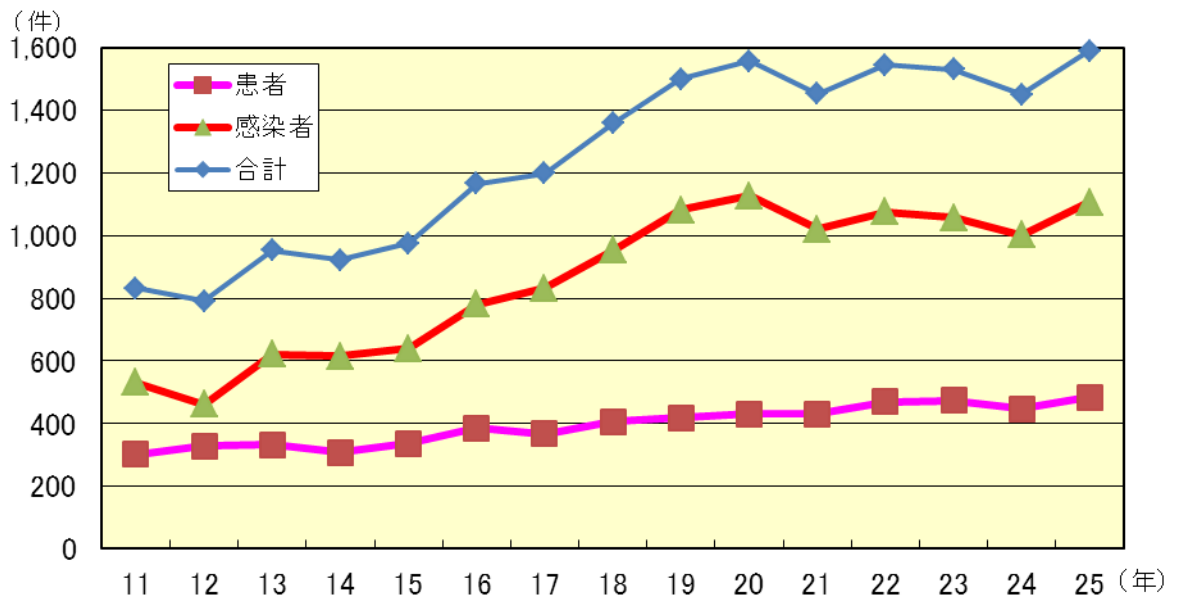


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

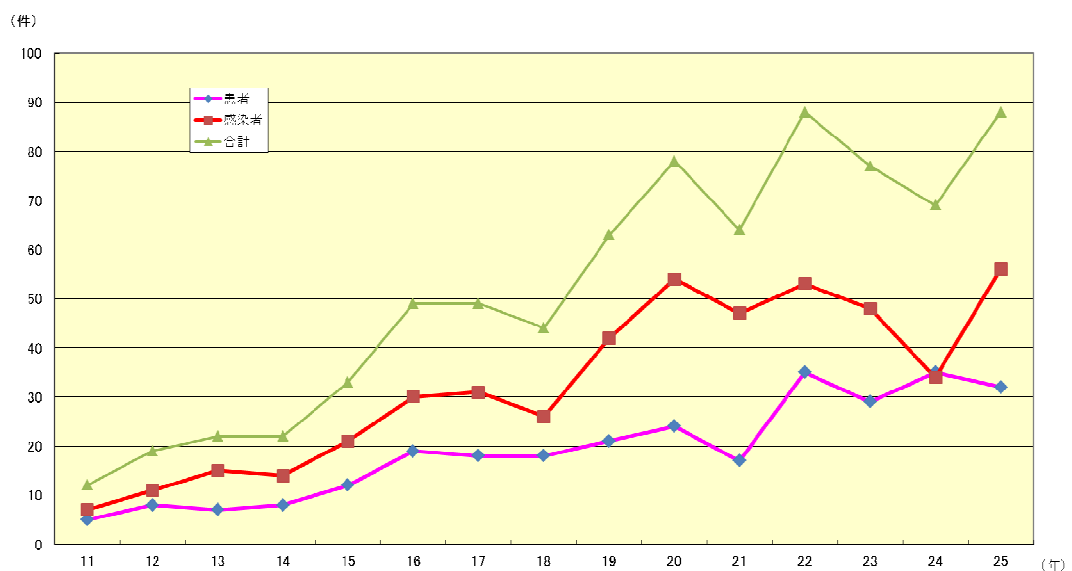


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

## 2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国H24年報告)

### (1) HIV感染者について

全国で平成25年に報告されたHIV感染者の感染経路は、異性間の性的接触が194件(17.5%)、同性間の性的接触が780件(70.5%)で、性的接触によるものは合わせて974件(88.1%)を占めた(図3)。また、母子感染は1件報告があった。

### (2) AIDS患者について

全国で平成25年に報告されたAIDS患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が116件(24.0%)、同性間の性的接触による感染が273件(56.4%)で、性的接触による感染は合わせて389件(80.4%)を占めた(図4)。

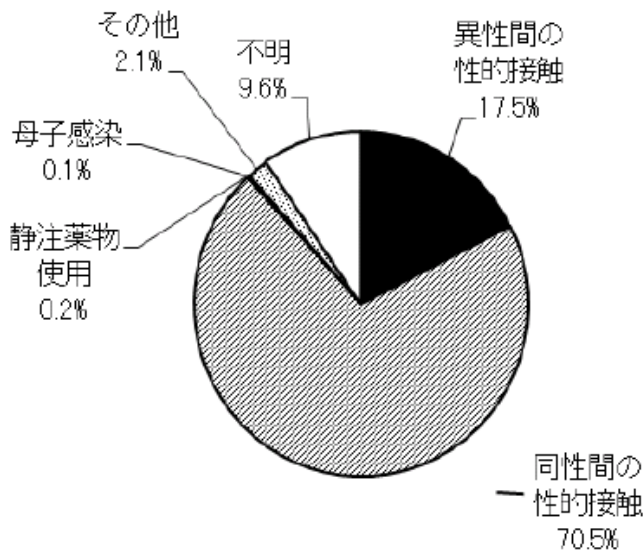


図3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳(平成25年全国報告例)

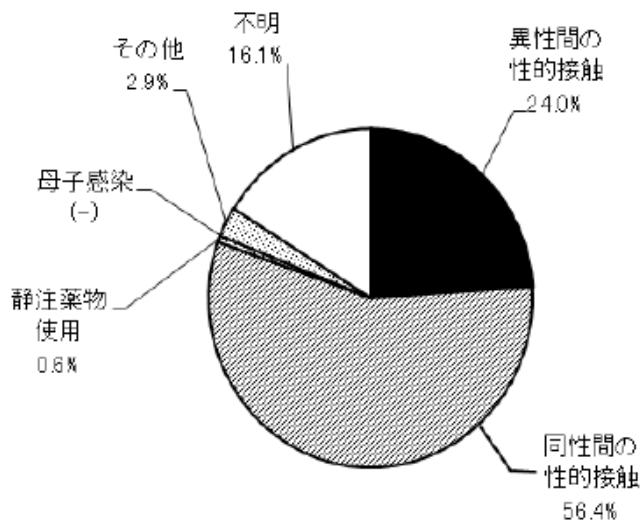


図4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳(平成25年全国報告例)

### 3 検査及び相談

平成 25 年の中国・四国ブロック内の自治体における HIV 抗体検査件数は、8,860 件、相談件数は 12,083 件とともに前年より減少している（図 5）。

このため、保健所等における HIV 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。

なお、平成 26 年第 1 四半期の前年同期との比較において、中国・四国ブロック全体では、相談件数は、H25 年 2,743 件から H26 年 2,801 件（表 1）、HIV 抗体検査件数は、H25 年 1,646 件から H26 年 2,140 件（表 2）とともに増加している。

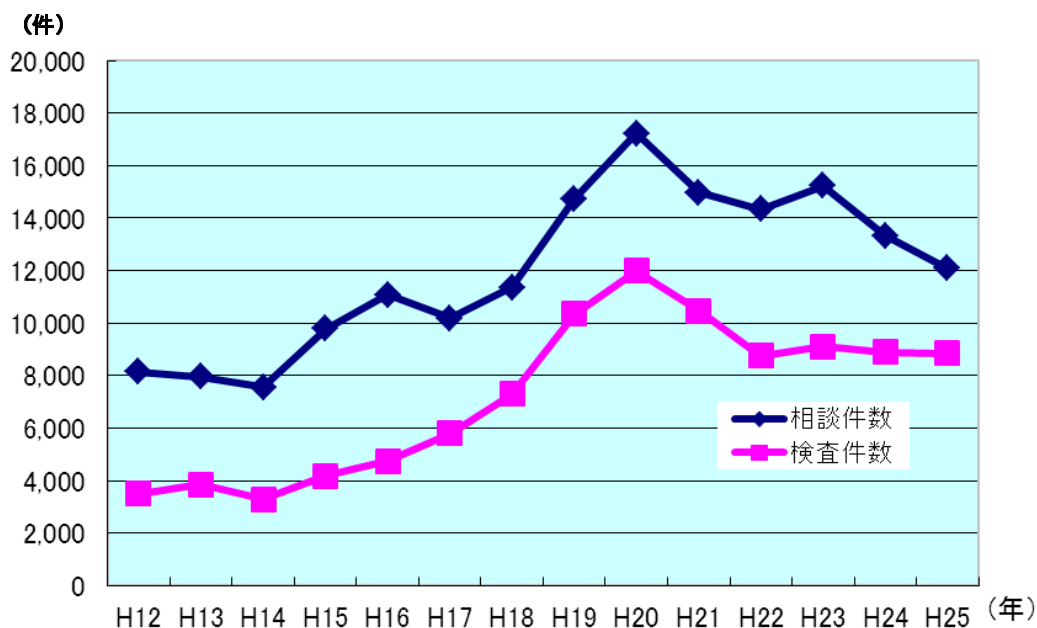


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

表 1 中国・四国ブロックの相談件数

	H25第1四半期*	H26第1四半期*
鳥取県	14	11
島根県	86	143
岡山県	399	489
広島県	1,295	1,200
山口県	216	178
徳島県	221	217
香川県	195	128
愛媛県	280	404
高知県	37	31
計	2,743	2,801

表 2 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数

	H25第1四半期*	H26第1四半期*
鳥取県	98	146
島根県	66	124
岡山県	214	278
広島県	480	587
山口県	211	278
徳島県	175	186
香川県	97	95
愛媛県	202	309
高知県	103	137
計	1,646	2,140

\*第1四半期とは、1月から3月のこと